

夫と死別、育児と勉強両立 竹田さん 鍼灸師に

「母親に笑顔」アロマ店開業

2008年に夫を亡くし、一人で3人の子供を育ててきた札幌市西区の38歳の女性が3年間の苦学を経て念願の鍼灸師となり、女性限定のはり・きゅうとアロマの店「まーめいどの森」を自宅で開業した。「笑う門には福来たる」という亡き夫の口癖を胸に、笑顔で来店者を日々迎えている。

「忙しい母親たちがいつ



アロマの香りが漂う店内で「母親たちを元気にしたい」と語る竹田加代江さん

も笑顔でいられるよう、ここで体も気持ちも楽になっ
てほしい」。西野10の8の
竹田加代江さんは、アロマ
の香りが漂う真新しい店内
で語り始めた。

転機は7年前。医療機器

の営業をしていた夫の忠人
さん(当時32)が、取引
先の病院でくも膜下出血に
見舞われ、翌日に死去。4
歳の長女、1歳で双子の長
男と次男が残された当時を
「家族が無事であることが、

どんなに幸せかを知った」と振り返る。

当初は泣いてばかりだったが、親類経営の整骨院を手伝ううちに、体づくりの大切さに気付き、子供を育てながら自宅で開業できる鍼灸師になろうと決意。11年に同区の北海道鍼灸専門学校に入学し、授業と家事

に追われながら、早朝2時間の勉強を続けた。

14年3月の卒業後も実務経験を積み、今年1月に待望の店を開店。目指すのは「母親たちが充電できる場所」。忙しくても自分の笑顔が子供たちを安心させ、家庭が明るくなることを実感したため、竹田さんは

「亡き夫に感謝し、今度は私が多くの人たちを笑顔にしていきたい」と話す。

アロママッサージとエステ、はり・きゅうの3種で、施術は60分5千円から。午前8時半～午後3時。土日祝日休み。同店☎090・8900・7799へ。

(本郷由美子)